

11. 住むようになった理由・きっかけ

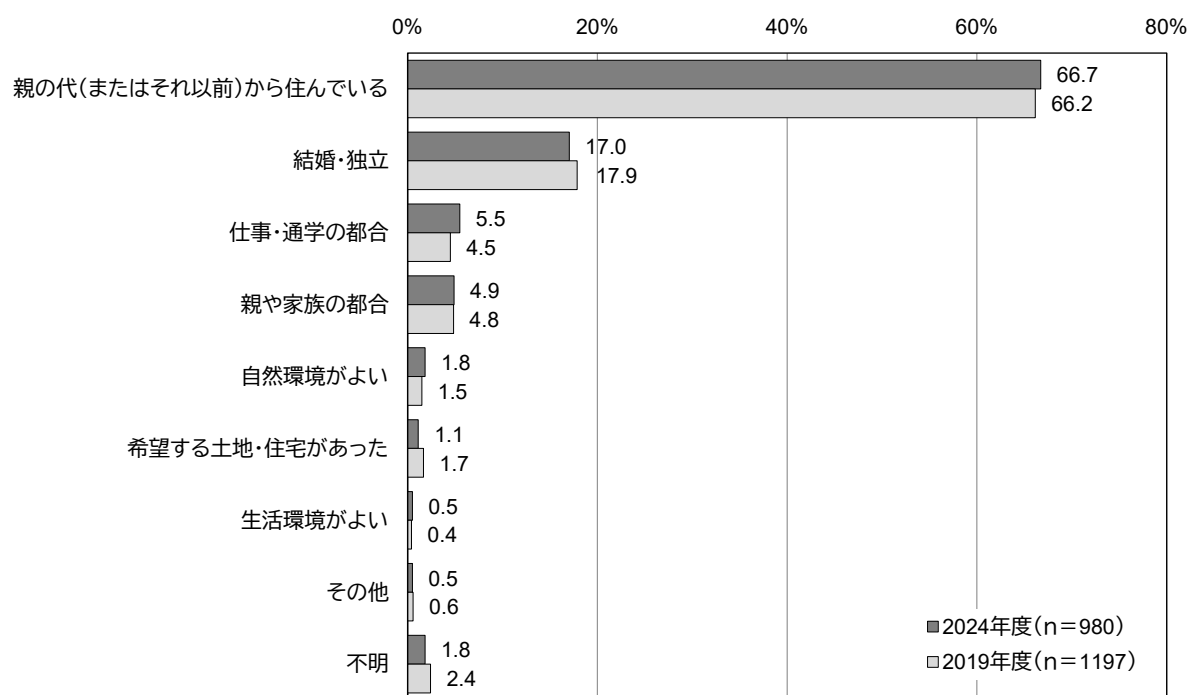
問 11 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。
(1つ選択)

●「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割で前回と同様の傾向

「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」（66.7%）が約7割で特に高く、次いで「結婚・独立」（17.0%）が約2割となっています。

その他（0.5%）の記述には、「（東京からの）Uターン」が複数見られます。

前回調査と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。

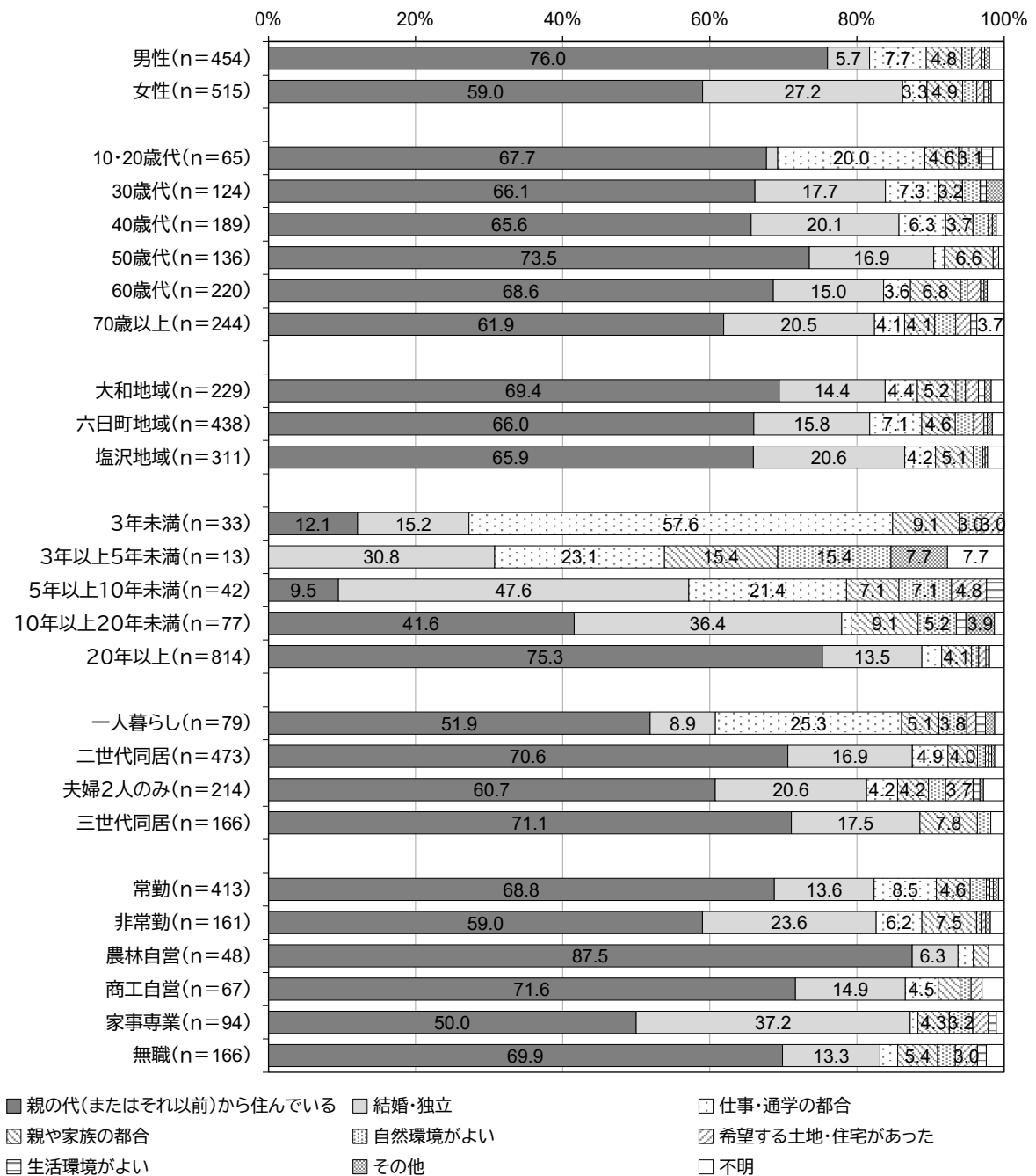


南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（1つ選択）（経年比較）

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」は農林自営が特に高い
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～10年未満は「結婚・独立」が最も高い
- 「結婚・独立」は女性、居住年数10～20年未満、家事専業も比較的高い

属性別に見ると、居住年数10年未満を除き「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高く、その中でも農林自営（87.5%）は約9割となっています。

居住年数10年未満のうち、3年未満は「仕事・通学の都合」（57.6%）、3年以上5年未満、5年以上10年未満は「結婚・独立」（それぞれ30.8%、47.6%）が最も高くなっており、「結婚・独立」は女性（27.2%）、10年以上20年未満（36.4%）、家事専業（37.2%）なども比較的高くなっています。



南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（属性別）

※図表の見やすさに考慮し、3.0%未満の値は非表示

12. 暮らしやすいか

問 12 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。（1つ選択）

●「どちらかといえば暮らしやすい」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上

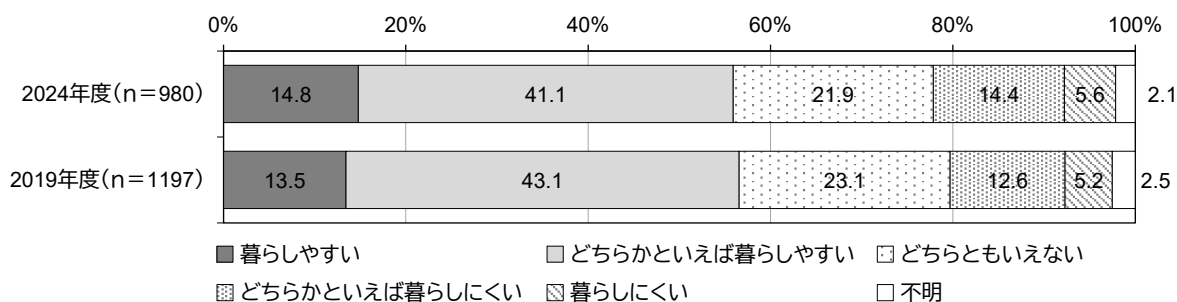
●合計値『暮らしやすい』は5割以上で前回と同程度

「どちらかといえば暮らしやすい」(41.1%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.9%)が2割以上となっています。

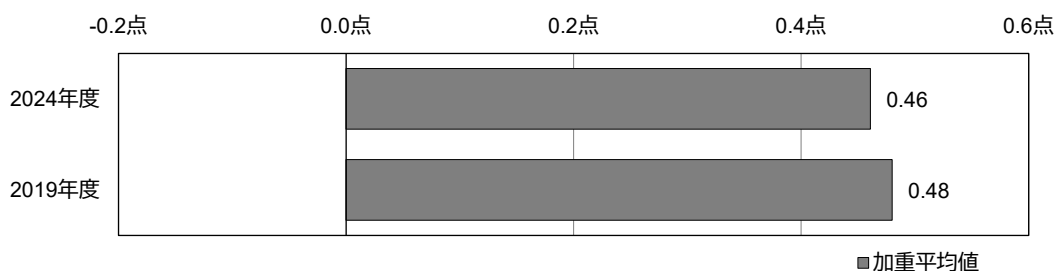
「暮らしやすい」(14.8%)と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』(55.9%)は5割以上、「暮らしにくい」(5.6%)と「どちらかといえば暮らしにくい」(14.4%)の合計値『暮らしにくい』(20.0%)は2割となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

暮らしやすさの程度について加重平均値*を見ても、本調査(0.46点)は前回(0.48点)と同程度となっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（1つ選択）（経年比較）



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（経年比較 加重平均値）

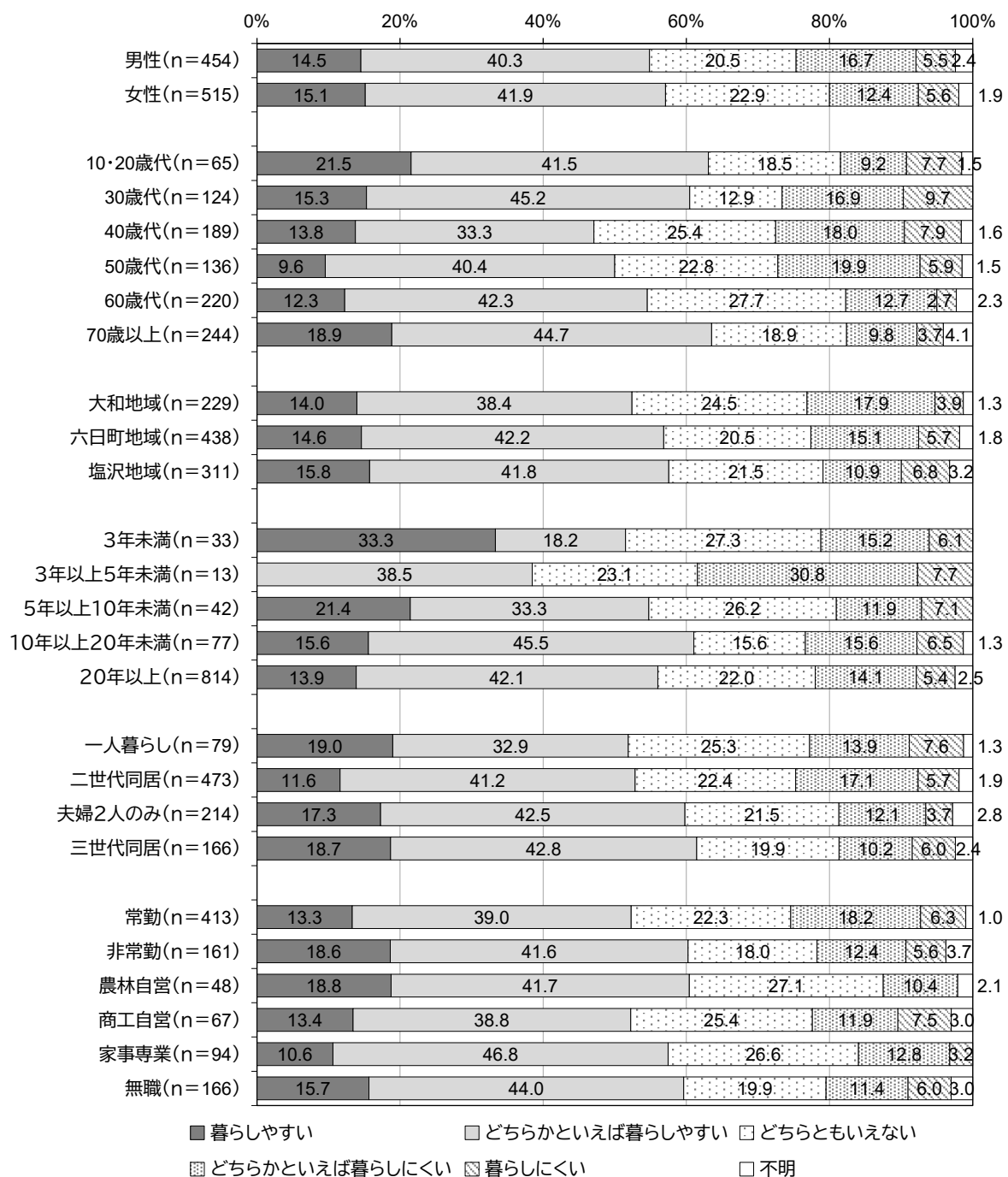
*加重平均値：「暮らしやすい」に+2点、「どちらかといえば暮らしやすい」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば暮らしにくい」に-1点、「暮らしにくい」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●居住年数3年未満は「暮らしやすい」、それ以外の属性は「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高い

●年代別では40・50歳代の評価が比較的低い

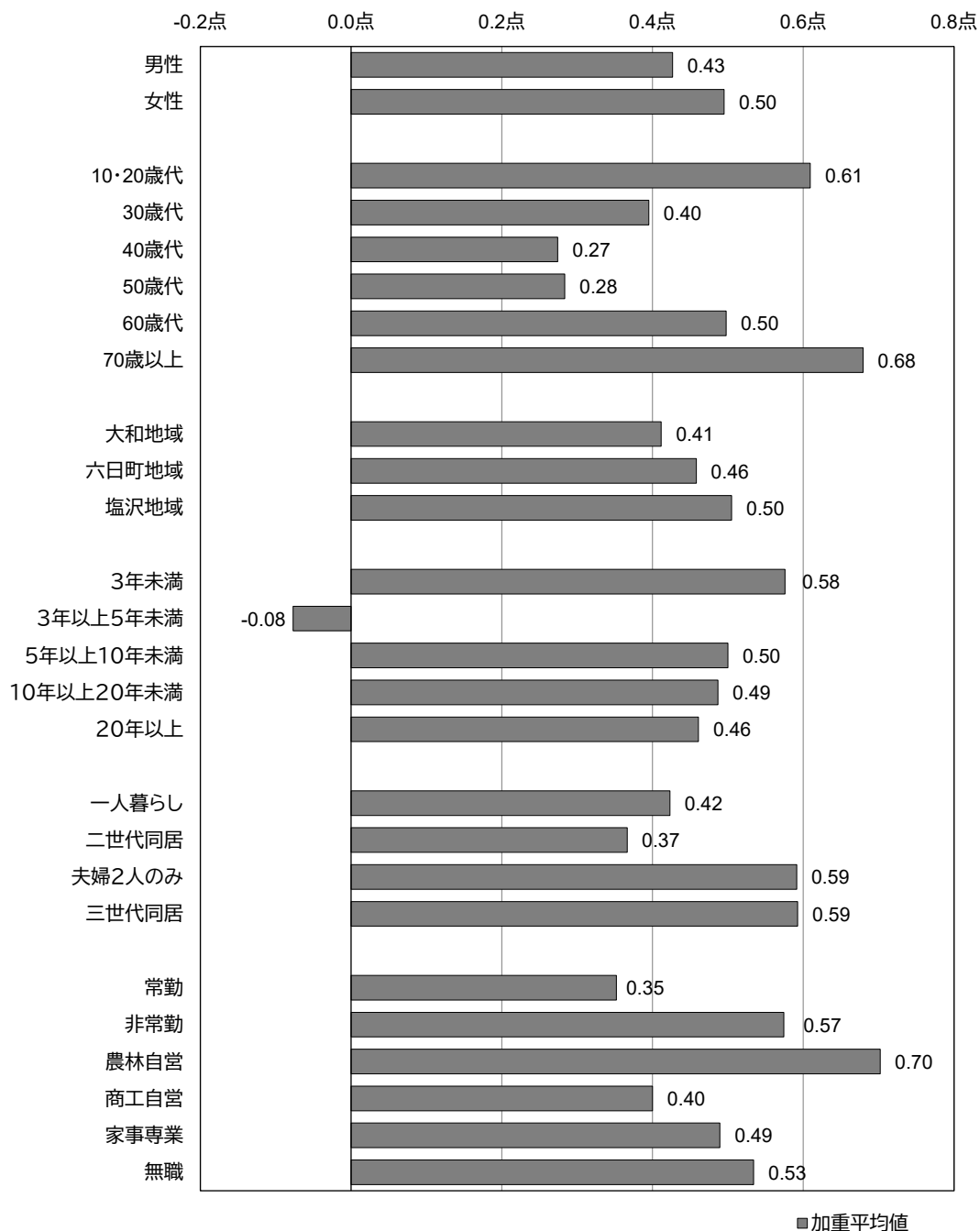
属性別に見ると、居住年数3年未満を除き「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高く、3年未満は「暮らしやすい」(33.3%)が最も高くなっています。一方、3年以上5年未満は「暮らしやすい」の回答が見られません。

合計値『暮らしやすい』が特に高い属性は見られませんが、年代別では10・20歳代(63.0%)、30歳代(60.5%)、70歳以上(63.6%)が6割以上で比較的高い一方、40歳代(47.1%)、50歳代(50.0%)は5割以下で比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか(属性別)

加重平均値を見ると、農林自営（0.70点）、70歳以上（0.68点）が比較的高い一方、居住年数3年以上5年未満（-0.08点）はマイナス値となっています。また、40歳代（0.27点）、50歳代（0.28点）も比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別 加重平均値）

13. 暮らしにくさや不安

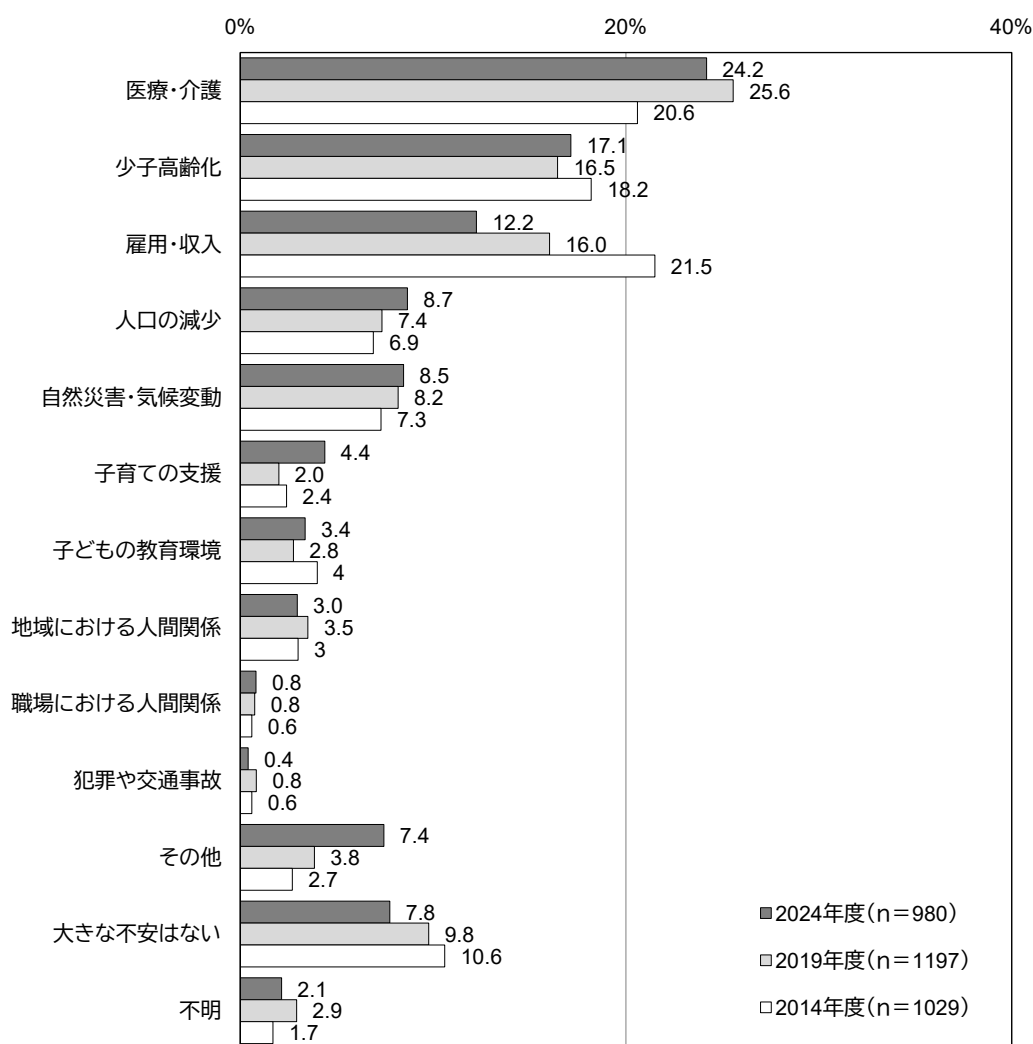
問 13 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。（1つ選択）

- 「医療・介護」「少子高齢化」の2項目が約2割で比較的高い
- 「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は高くなる傾向

「医療・介護」（24.2%）、「少子高齢化」（17.1%）が約2割で比較的高くなっています。一方、「大きな不安はない」（7.8%）は約1割となっています。

その他（7.4%）の記述には、雪の多さ、水道料などの公共料金の高さ、買い物の不便さなどに関する内容が複数見られます。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は若干高くなる傾向が見られます。

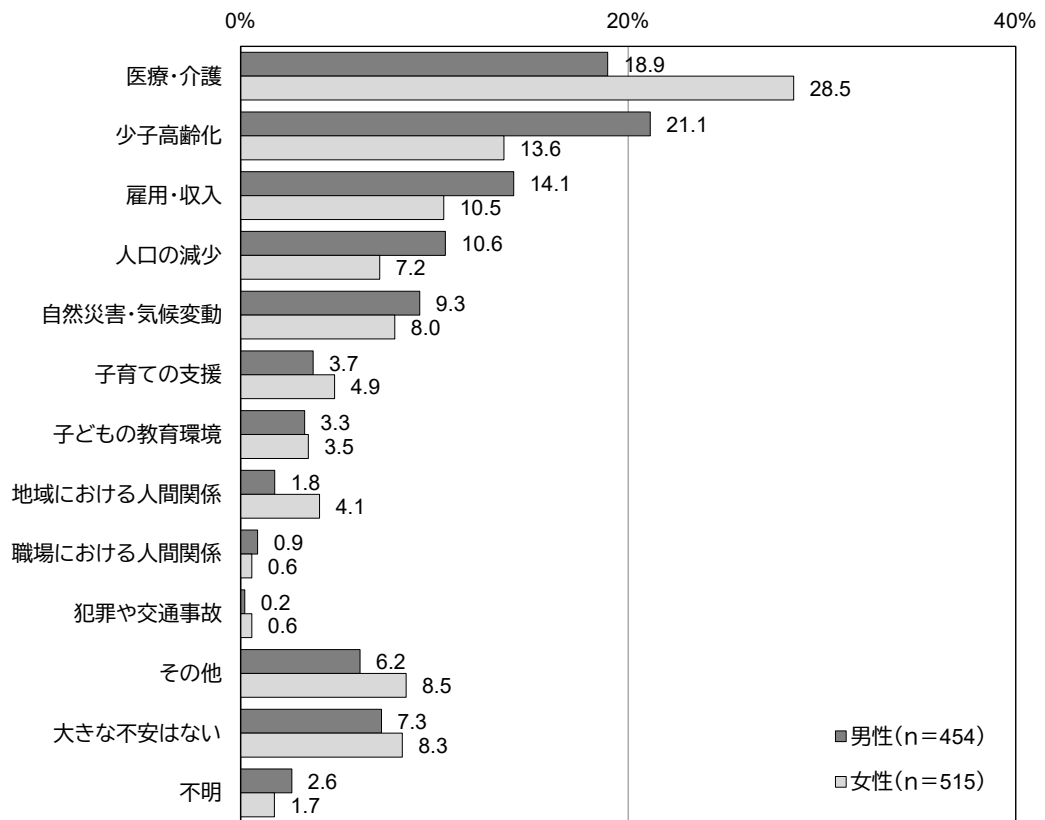


南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（1つ選択）（経年比較）

●男性は「少子高齢化」「医療・介護」が同程度に高く、女性は「医療・介護」が最も高い

性別で見ると、男性は「少子高齢化」(21.1%)と「医療・介護」(18.9%)が同程度に高く、女性は「医療・介護」(28.5%)が最も高くなっています。

男女差は「医療・介護」で最も大きく、女性が男性より9.6ポイント高くなっています。



南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（性別）

●30 歳代以下は「雇用・収入」、40 歳代以上は「医療・介護」が最も高く、「医療・介護」は高い年代ほど高い

年代別で見ると、10・20 歳代、30 歳代は「雇用・収入」(10・20 歳代 23.1%、30 歳代 16.9%)、40 歳代以上は「医療・介護」が最も高く、「医療・介護」はおおむね高い年代ほど高くなっています。

年代差は「医療・介護」「雇用・収入」で大きく、「医療・介護」は最も高い 60 歳代 (29.5%) と最も低い 10・20 歳代 (9.2%) で 20.3 ポイントの差、「雇用・収入」は最も高い 10・20 歳代と最も低い 70 歳以上 (2.5%) で 20.6 ポイントの差が見られます。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること (年代別)

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
医療・介護	9.2	14.5	20.6	27.9	29.5	29.1
少子高齢化	9.2	12.9	11.6	17.6	19.1	23.8
雇用・収入	23.1	16.9	19.6	14.7	9.1	2.5
人口の減少	4.6	4.0	6.3	5.9	10.0	14.3
自然災害・気候変動	13.8	8.1	7.9	8.1	9.5	7.0
子育ての支援	9.2	16.1	5.8	1.5	0.9	0.4
子どもの教育環境	1.5	4.8	6.9	2.2	2.7	1.6
地域における人間関係	0.0	2.4	2.1	6.6	4.1	1.6
職場における人間関係	3.1	2.4	1.1	0.7	0.0	0.0
犯罪や交通事故	0.0	0.8	0.0	0.7	0.0	0.8
その他	15.4	9.7	11.6	8.1	4.5	3.3
大きな不安はない	9.2	7.3	5.3	5.1	7.7	11.1
不明	1.5	0.0	1.1	0.7	2.7	4.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●すべての居住地域で「医療・介護」が最も高く、地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地区で「医療・介護」が最も高く、次いで「少子高齢化」が高くなっており、地域による大きな差は見られません。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	229	438	311
医療・介護	24.0	23.7	24.8
少子高齢化	20.1	15.3	17.7
雇用・収入	8.7	13.9	12.5
人口の減少	8.7	8.7	8.7
自然災害・気候変動	9.6	8.2	8.0
子育ての支援	3.9	5.3	3.2
子どもの教育環境	2.6	3.7	3.5
地域における人間関係	3.1	3.2	2.6
職場における人間関係	0.9	0.0	1.9
犯罪や交通事故	0.4	0.7	0.0
その他	7.0	7.5	7.7
大きな不安はない	9.2	8.0	6.4
不明	1.7	1.8	2.9
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●農林自営は「少子高齢化」、他の職業はいずれも「医療・介護」が最も高い

職業別で見ると、農林自営は「少子高齢化」(31.3%)、他の職業はいずれも「医療・介護」が最も高くなっています(商工自営は「医療・介護」「少子高齢化」が16.4%で同値)。

また、常勤は「雇用・収入」(17.9%)が比較的高くなっています。

職業差は「医療・介護」で最も大きく、最も高い家事専業(39.4%)と最も低い商工自営(16.4%)では23.0ポイントの差が見られます。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
医療・介護	19.1	29.2	20.8	16.4	39.4	28.9
少子高齢化	16.2	16.8	31.3	16.4	19.1	16.9
雇用・収入	17.9	14.9	4.2	9.0	4.3	4.2
人口の減少	6.3	5.0	14.6	14.9	8.5	15.7
自然災害・気候変動	9.7	8.1	8.3	4.5	5.3	9.6
子育ての支援	5.6	2.5	4.2	13.4	3.2	0.0
子どもの教育環境	4.6	3.1	2.1	3.0	1.1	2.4
地域における人間関係	3.1	2.5	0.0	4.5	4.3	3.0
職場における人間関係	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.6
犯罪や交通事故	0.5	0.0	0.0	1.5	1.1	0.0
その他	9.0	9.9	0.0	3.0	2.1	5.4
大きな不安はない	5.8	5.6	12.5	9.0	10.6	9.6
不明	0.7	2.5	2.1	3.0	1.1	3.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値